

Weintek Labs. Inc.

動的作画

木材切断機上での応用例

サンプルプロジェクト

目次

1. 概要及び操作.....	1
2. 設定手順.....	3
3. アドレス設定.....	6

1. 概要及び操作

概要

動的作画オブジェクトは、ユーザーに HMI で随時に作画できる機能を提供します。それに応じ、木材切断機はちょうど本機能を応用できます。切断を実行する前、全ての切断パラメータを図面に作成し、HMI で表示しユーザーに参考させます。本例では、動的作画オブジェクトを木材切断機に適用する方法を説明します。

操作

プロジェクトをオープンし、オフラインシミュレーションを実行します。

[Draw]：レシピデータベースに保存された切断パラメータを作画する。


[Clear]：作画した図形を消去する。

[Cut Set]：切断パラメータを新規追加/変更する。

[Width]：板の切断幅を調整する。

Woodworking Cutting Machine

Pattern



Wood Dimension

Width (10~400)

STEP	LEN	QTY	Color
1	20	1	0
2	50	1	1
3	20	2	2
4	80	1	3
5	40	2	4

Cut Set

STEP LEN QTY

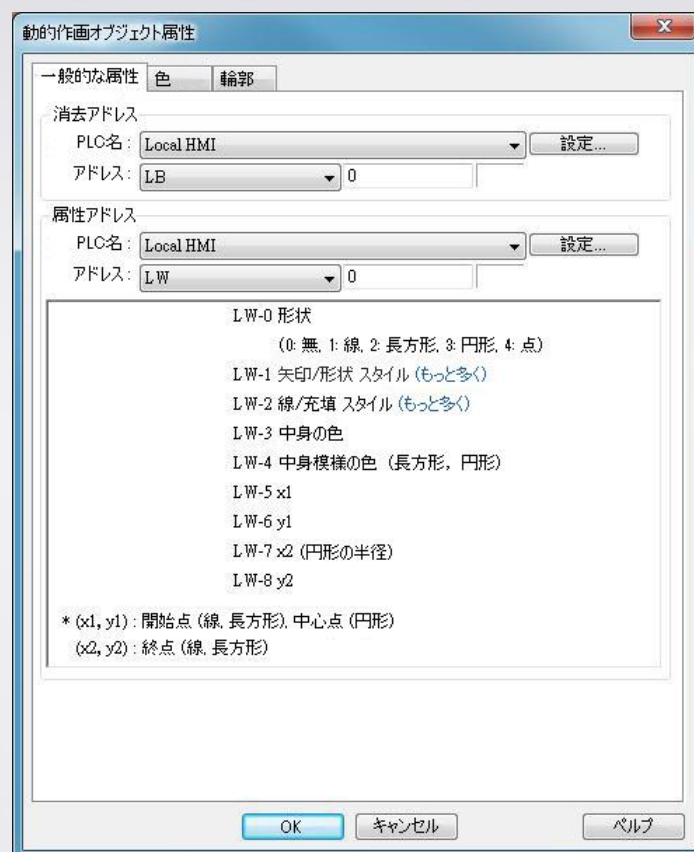
Color

2. 設定手順

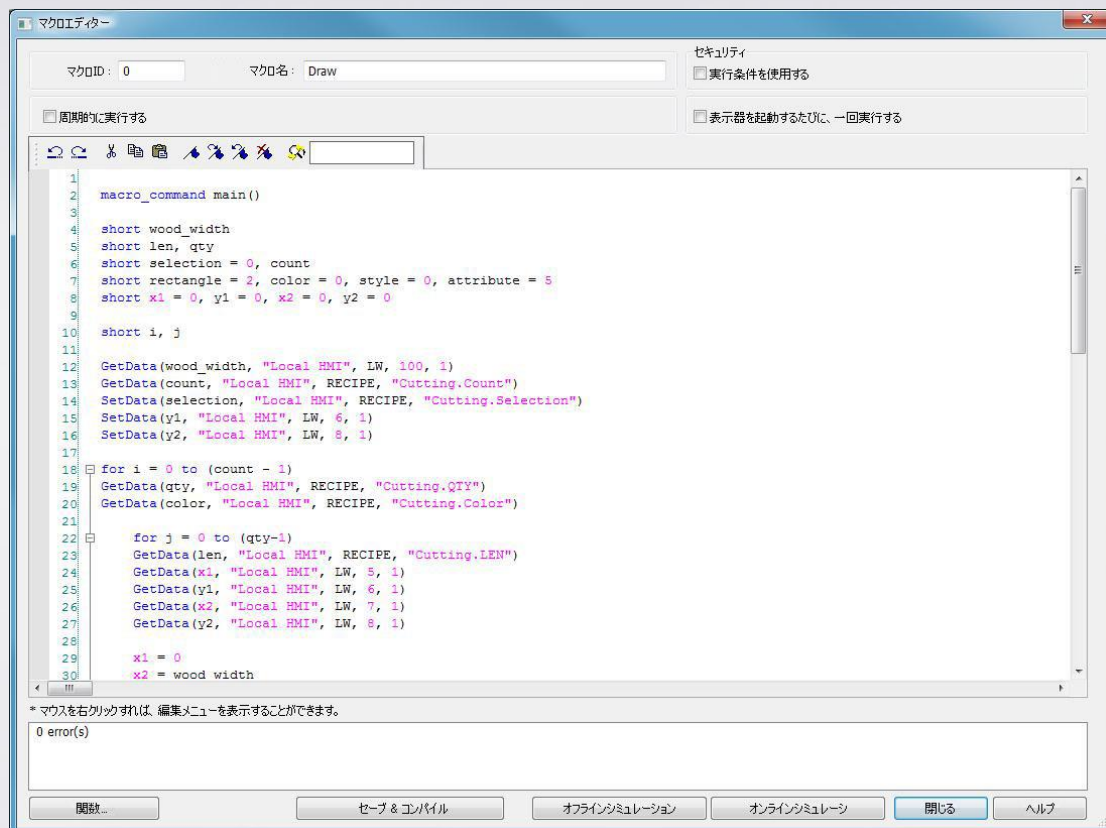
ステップ 1. [システムパラメータ設定] » [レシピ]、及び [ライブラリ] » [レシピ記録] オブジェクトで切断パラメータを設定します。



ステップ 2. [動的作画] オブジェクトを新規作成し、各パラメータを設定しておきます。



ステップ 3. マクロを作成します。作画が誘発された時、切断パラメータをレジピデータベースから[動的作画]オブジェクトに転送するようにします。



3. アドレス設定

本例で使用したオブジェクトのアドレスは下記の通りです。実際の需要に応じ、調整してください。

オブジェクト	アドレス	オブジェクト ID	記述
ウィンドウ 10			
動的作画	LB-0, LW-0	DO_0	動的作画の範囲を表示する
レシピ閲覧		RV_0	レシピデータを表示する
数値	LW-100	NE_1	作画の幅を設定する
数値	Recipe-Cutting. LEN	NE_2	切断の長さパラメータを表示する
数値	Recipe-Cutting. QTY	NE_3	切断の数量パラメータを表示する
数値	Recipe-Cutting. STEP	NE_4	切断の番号パラメータを表示する
オプション リスト	Recipe-Cutting. Color	OL_0	切断の色パラメータを表示する
ワード設定	Recipe-Cutting. Command	SW_0	レシピデータをレシピデータベースに修正する
ワード設定	Recipe-Cutting. Command	SW_1	レシピデータをレシピデータベースに新規追加する

			る
ワード設定	LW-100	SW_2	ウインドウがオープンされた時、作画の幅を設定する
ファンクションキー		FK_0	マクロを誘発し、作画する
ビット設定	LB-0	SB_0	図形を消去する